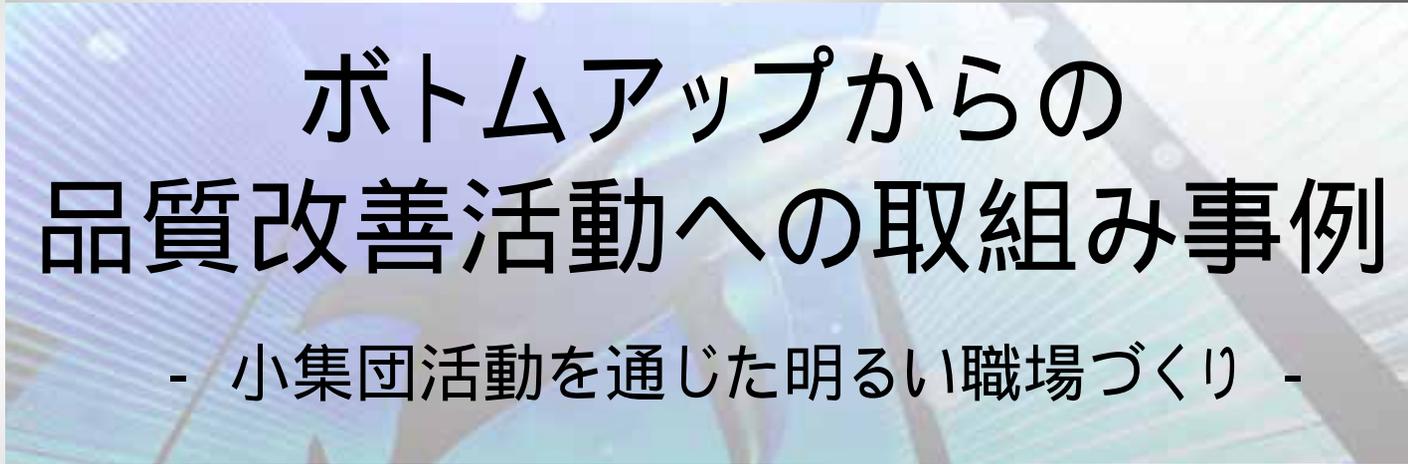




SPI Japan 2007 プレゼンテーション資料

IT in all Based on IT



ボトムアップからの 品質改善活動への取組み事例

- 小集団活動を通じた明るい職場づくり -



平成19年11月1日

株式会社 インテック
千財 富雄

目次

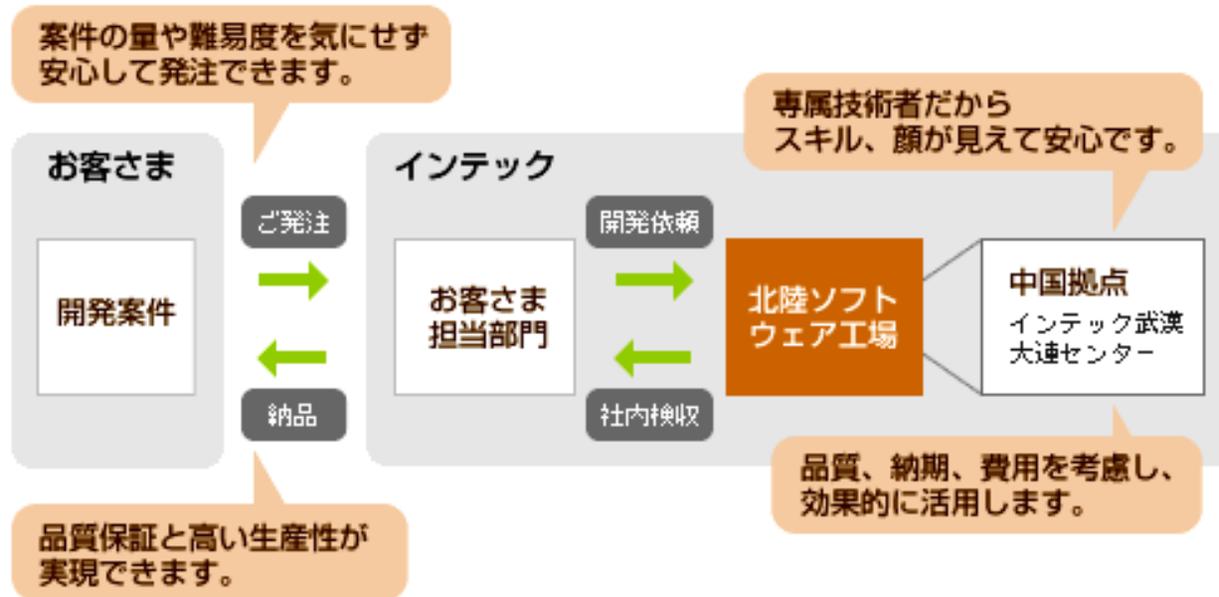
- 1 . はじめに
 - 組織の紹介
 - QCサークルとは？
- 2 . QCサークル活動の歴史と再開
 - 弊社QCサークル活動の歴史
 - QCサークル活動の再開に至った経緯
- 3 . 活動内容
 - 活動の進め方
 - 活動の目標と成果、反省と課題
- 4 . まとめ
 - QCサークル活動のよかった点
 - 今後の課題

1.はじめに

組織の紹介



2005年、弊社は創業の地である北陸に全社レベルの開発拠点として『北陸ソフトウェア工場』を稼働させた。



現在は、社員200名、パートナーさんを含め400名の開発体制

1. はじめに

QCサークルとは？

同じ職場内で
品質管理活動を
自主的に行う
小グループ のことである。



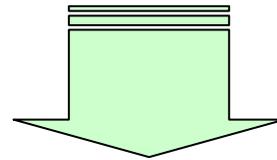
QCサークル活動の基本理念は？

人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す。
人間性を尊重し、**生きがいのある明るい職場**をつくる。
企業の体質改善・発展に寄与する。

出展：『QCサークル綱領(改訂版)』日本科学技術連盟

弊社QCサークル活動の歴史

今から20年以上前に、
弊社にもQCサークル活動が取り入れられた。



1993年頃より、QCサークル活動が途絶える。

発表のための活動となり、
QCサークル活動自体が衰退

QCサークル活動の再開に至った経緯

さらに、数年前から、
開発手段中心の業務形態となり、
生産性/コスト面ばかりが重要視
品質に対する向上意識の低下
個人の技術力に対して
組織のパフォーマンスが上がっていない



小集団活動の原点としての
QCサークル活動を再開



QCサークル活動に期待する効果

QCサークル活動を通じて

コミュニケーション力のアップ

問題に対する考える能力をつける

後輩への育成責任を持たせる

世代間の人財交流

KAIZEN体質を身に付ける



3. 活動内容

活動の進め方

活動の推進役として、タスクフォースを結成
各部でQCサークルを編成
各サークルのメンバ全員が集まりキックオフ
各部でラウンドテーブルを開催し、
活動状況の報告の場を設けることで、
サークル活動を定着させる
『QC7つ道具』などの研修の開催
工場の発表大会の開催

ボトム
UP

ラウンドテーブル:

共通の目的をもったグループのメンバが定期的会して、
共通のテーマを学習したり、各グループの活動状況を発表したりする場

活動への反発



業務が忙しいのに、
なぜQCをやらなければいけないの？

今さら、なぜ
QCサークル
なのか？



反発の克服

業務が忙しいのに、なぜサークル活動を。。。

➔ 業務に追われていても、KAIZENという意識を持って見れば、無駄なことが見えてきたりする。

➔ 忙しい時だからこそ、品質を上げるための活動として、行動すべき。



1年目の活動目標

全部門で、
QCサークル活動を
開始させる！

3. 活動内容

1年目の成果と反省

テーマが業務に関係ない！

サークル数	43	サークル結成
テーマ数	43	テーマ
平均会合回数	1 ~ 2回 / 月	
完了したテーマ数	6	テーマ
合計活動時間	5,000時間 / 年間	

1年で1テーマも解決しないの？

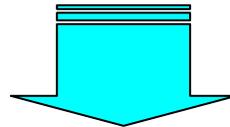
3. 活動内容

1年目の課題

テーマが業務に関係ない！



QCストーリーを経験するために、
取り扱いやすいテーマが選ばれた



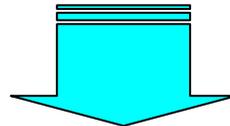
業務に密着したテーマで
QCサークル活動を展開！

1年目の課題

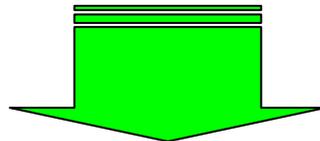
1年で1テーマも解決しないの？



KAIZENスピードの加速



改善効果を速く、確実に出すために
1年3回のPDCAサイクルを回そう



3テーマ / 年を目標に活動！

発表大会の工場長講評より

小集団活動 7つのココロ

- 1年3サイクルが理想
- 小さなことから手をつけよ
- 最善の対策でなくてよい
- 失敗してもよい
- 発表大会を意識して活動するな
- QCサークルは、ボトムアップ、自主的な活動である
- サークル活動は、ベテランと若手の対話促進、相互交流の手段でもある



3 . 活動内容

2年目の活動目標

3テーマ / 年を目標に、サークル活動を行う
活動テーマは、**業務に密着した**内容を選ぶ

2年目の活動計画

IT業界他社の活動事例の情報を提供する
『**新QC7つ道具**』などの研修を開催する
各部での**ラウンドテーブル**は継続する
サークル活動状況の『**見える化**』を行う
工場の**発表大会**は開催する

3. 活動内容

2年目の成果と反省

1年目との比較

2.2テーマ/年

サークル数	48 サークル	➡
テーマ数	119 テーマ	⬆
平均会合回数	2 ~ 3回 / 月	➡
完了したテーマ数	107 テーマ	⬆
合計活動時間	9,000時間 / 年間	➡

業務に関連したテーマが少ない

3. 活動内容

2年目の課題

- 3テーマ / 年を目標に、サークル活動を行う
- 3テーマこなすことが目標と勘違いされた
 - 簡単なテーマをスピーディに解決する意図が伝わっていなかった。

活動テーマは、業務に密着した内容を選ぶ

- サークル内での業務のバラツキ
- 現場のボトルネックとなっている問題を避けているのでは？

3. 活動内容

3年目の活動目標

- 3テーマ / 年を目標に、サークル活動を行う
- ➔ 簡単なテーマをスピーディに解決する
(大きな課題に取り組む場合は、3テーマに拘らず)
 - ➔ サークルリーダーを集めての研修を開催
- 活動テーマは、業務に密着した内容を選ぶ
- ➔ 密着したテーマで、現実的な成果を上げる
 - ➔ 課長、主任クラスの積極的な関与を促す
(ラウンドテーブルに率先して参加もらい、発言を促す)

トップ
DOWN

4. まとめ

QCサークル活動のよかった点

活動を通してのコミュニケーションの活性化

➡ 若手から、業務上の問題点について意見が出る

実践を通じた若手の指導、育成に一役

QC D、特に品質に対する意識の向上

自発的な行動と改善意欲、創意工夫など

QCサークル活動によって
職場が明るくなった！

今後の課題

成果を上げるための活動とするには？
(活動時間に見合った成果を上げるには？)

→ 成果に対するインセンティブ要求を行う

効果的な話し合いを行うには？

→ サークルリーダにファシリテーション
スキルを身に付けさせる



4. まとめ

QCサークル活動の目標

工場全体に**改善**、
工夫、**提案**、**変わる**
などの自発的行動

意識改革

企業体質の変革



ご清聴
ありがとう
ございました

